

作成日：2016年01月12日

改訂日：2023年02月03日

安全データシート（追加情報）

1. 化学品及び会社情報

製品名：シナジオ乳剤

会社名：日産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋二丁目5番1号

担当部門：農業化学品事業部企画開発部登録グループ

電話番号：03-4463-8310

FAX番号：03-4463-8331

緊急連絡電話番号：農薬中毒事故時の問合せ先 公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (一件2,000円)
大阪(365日・24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日・9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

用途及び使用上の制限：農薬（除草剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート（SDS）

「HCCシナジオ乳剤」（保土谷化学工業株式会社、作成日：2022年05月06日）を参照してください。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : HCC シジメ乳剤

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬

会社情報

保土谷化学工業株式会社

アグロ事業部

105-0021

東京都港区東新橋 1-9-2

T 03-6852-0380 - F 03-6274-5814

nouyaku@hodogaya.co.jp

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 03-6852-0415
環境安全部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 4
健康有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	皮膚感作性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: 可燃性液体 (H227)

皮膚刺激 (H315)

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

強い眼刺激 (H319)

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 (H410)

注意書き (GHS JP)

安全データシート

HCC シジミ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全対策	: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) : 気体、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261) : 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264) : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272) : 環境への放出を避けること。(P273) : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352) : 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338) : 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。 (P333+P313) : 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313) : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364) : 漏出物を回収すること。(P391)
保管	: 換気の良い場所で保管すること。(P403)
廃棄	: 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。 (P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名	: トリフルリン・IPC 乳剤

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
4-(トリフルオロメチル)-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピルアニリン (トリフルリン)	33.0	(3)-426	4-(12)-215,4-(12)-284	1582-09-8
イソプロピルN-(3-クロロフェニル)カーバメイト (IPC)	11.0	(3)-3217	4-(6)-45	101-21-3
ナフタレン	5.3	(4)-311	化審法と同じ	91-20-3
1,2,4-トリメチルベンゼン	1.7	(3)-7,(3)-3427	化審法と同じ	95-63-6
有機溶剤、界面活性剤等	49.0	-	-	-

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。 : 汚染された衣類を脱ぐこと。 : 皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

安全データシート

HCC シジミ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 刺激性。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災危険性 : 可燃性液体。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
気体、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

安全データシート

HCC シジメ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

- : データなし
- : 作業所の十分な換気を確保する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
個人用保護具を着用する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
気体、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避

衛生対策

- : データなし
- : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件

- : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

- : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

ナフタレン (91-20-3)	
日本-ばく露限界値	
管理濃度	10ppm
許容濃度(ACGIH)	TWA 10 ppm,STEL - (Skin)
1, 2, 4-トリメチルベンゼン (95-63-6)	
日本-ばく露限界値	
許容濃度(産衛学会)	25ppm(120mg/m ³)

設備対策

- : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具

- : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具

- : 保護用手袋

眼の保護具

- : 化学用ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

- : 適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル



環境へのばく露の制限と監視

- : 環境への放出を避けること。

安全データシート

HCC シジメ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 液体
色	: 赤黄色
臭い	: 情報なし
pH	: 5.53
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 63.8 °C ㊦密閉式
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1.03
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 高温で有毒ガスを放出することがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

HCC シジメ乳剤	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg ♀
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg ♂♀

皮膚腐食性／刺激性	: 皮膚刺激 投与 1 時間後~投与 14 日後に刺激性あり (ウサギ) 紅斑・痂皮は投与 14 日後にも回復しない
-----------	---

安全データシート

HCC シンジオ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

HCC シンジオ乳剤	
pH	5.53

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 強い眼刺激
投与 1 時間後~投与 9 日後に刺激性あり (ウサギ)

HCC シンジオ乳剤	
pH	5.53

呼吸器感受性 : 分類できない
皮膚感受性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

HCC シンジオ乳剤	
LC50 - 魚 [1]	2.1 mg/l コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	1.6 mg/l オオミジンコ
ErC50 藻類	0.47 mg/l ムレミヅギキ藻 72h

残留性・分解性

HCC シンジオ乳剤	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

HCC シンジオ乳剤	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

HCC シンジオ乳剤	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

安全データシート

HCC シジメ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 3082
正式品名 (UN RTDG) : 環境有害物質 (液体) (HCC シジメ乳剤)
容器等級(UN RTDG) : III
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 9
危険物ラベル (UN RTDG) : 9



クラス (UN RTDG) : 9
少量危険物 (UN RTDG) : 5L
微量危険物 (UN RTDG) : E1
包装指令 (UN RTDG) : P001、IBC03、LP01
特別包装規定 (UN RTDG) : PP1
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件 (UN RTDG) : T4
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件 (UN RTDG) : TP1、TP29

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG) : 3082
正式品名 (IMDG) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
容器等級(IMDG) : III
輸送危険物分類 (IMDG) : 9
危険物ラベル (IMDG) : 9



クラス(IMDG) : 9
特別規定 (IMDG) : 274、335、969
少量危険物(IMDG) : 5 L
微量危険物(IMDG) : E1
包装要件(IMDG) : LP01、P001
特別包装規定 (IMDG) : PP1
IBC 包装要件(IMDG) : IBC03
ポータブルタンク包装規定 (IMDG) : T4
輸送特別規定-タンク (IMDG) : TP1、TP29
積載区分 (IMDG) : A
緊急時応急措置指針番号 : 171

安全データシート

HCC シジミ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA) : 3082
正式品名 (IATA) : Environmentallyhazardous substance, liquid, n.o.s.
容器等級 (IATA) : III
輸送危険物分類 (IATA) : 9
危険物ラベル (IATA) : 9



クラス (IATA) : 9
PCA 微量危険物(IATA) : E1
特別管制区(PCA)少量危険物(IATA) : Y964
特別管制区(PCA)数量限定物の最大積載量 (IATA) : 30kgG
PCA 包装要件(IATA) : 964
特別管制区(PCA)最大積載量(IATA) : 450L
CAO 包装要件(IATA) : 964
貨物機専用(CAO)最大積載量 (IATA) : 450L
特別規定(IATA) : A97、A158、A197、A215
ERG コード (IATA) : 9L

海洋汚染物質 : 該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号 : 171
その他の情報 : 補足情報なし

安全データシート

HCC シジミ 乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 特定化学物質第2類物質、特定第2類物質（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2、3号） 変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達） 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） トリメチルベンゼン（政令番号：404） ナフタレン（政令番号：408） 特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3） 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項） 特殊健康診断対象物質・過去取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第2項）
水質汚濁防止法	: 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条）
消防法	: 第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申） 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（平成14年度VOC排出に関する調査報告）
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	: 有害性物質（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法	: その他の有害物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
下水道法	: 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） 1, 2, 4-トリメチルベンゼン (管理番号 : 296) (1.7%) アルファ, アルファ, アルファートリフルオロ-2, 6-ジニトロ-N, N-ジプロピル-パラトルイジン (管理番号 : 293) (33%) ナフタレン (管理番号 : 302) (5.3%) 【改正後 令和5年4月1日以降】 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） トリメチルベンゼン (管理番号 : 691) (4.2%) アルファ, アルファ, アルファートリフルオロ-2, 6-ジニトロ-N, N-ジプロピル-パラトルイジン (管理番号 : 293) (33%) イソプロピル=3-クロロカルバニラート (管理番号 : 586) (11%) ナフタレン (管理番号 : 302) (5.3%)
農薬取締法	: 該当
土壌汚染対策法	: 特定有害物質（法第2条第1項、施行令第1条）

安全データシート

HCC シジミ乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。